

好きだった女優が亡くなった！

～「87分署」のテディ・キャレラ役～

7組 山本 哲照

最近立て続けに海外の映画俳優の訃報が伝えられました。アメリカの女優「ジーナ・ローランズ」(享年94、8月14日死去)とフランスの男優「アラン・ドロン」(享年88、8月18日死去)です。アラン・ドロンを知らない日本人はいないと言っても過言ではないくらいよく知られた映画俳優については、また述べる機会もあるでしょうから今回はもう一人のジーナ・ローランズについてお話をさせてください。よほどの映画好きでなければおそらくどなたもご存じないと思いますが、**1930年生まれのアメリカの映画女優**です。映画監督兼俳優のジョン・カサベテスと結婚。彼の監督した作品に数多く出演、優れた映画を残しました。特に私の印象に残っている映画は「グロリア」(1980年、米)。ギャングに家族を殺され自分も命を狙われている隣家の6歳の息子を助けて逃避行をする裏社会の女性を演じました。この映画に出た時はすでに50歳。私自身はあまり女優として好きなタイプには思えませんでした。私が彼女のことをもっと詳しく知るようになったのはべつの理由からでした。

私はアメリカの警察小説「87分署シリーズ」(エド・マクベイン原作)のファンで早川書房から翻訳出版された全集(「ハヤカワ・ポケット・ミステリ」)をすべて買い揃えて愛読していました。このシリーズがアメリカでテレビドラマ化され、日本では**1962年(昭和37年)**からフジテレビで放映されました。主人公のスティーブ・キャレラ刑事には**耳が聞こえず口もきけない愛妻テディ**がいました。原作の小説には物語の随所に登場し主要なキャラクターとなっていますが、テレビシリーズでは全30回のうちほんの数話にしか出てきませんでした。しかし、その**テディ役を演じた女優は私の好きなタイプ**で名前や経歴などを知りたかったのですが、当時は今ほど情報にあふれた時代ではなく調べるすべもありませんでした。そして何年か経ったあとの女優の名前と経歴などが色々分ってきました。その名前が「ジーナ・ローランズ」だったのです。但し、実際に映画館のスクリーンで彼女を見たのは前述の「グロリア」のみでした。私にとって「ジーナ・ローランズ」はテレビドラマ「87分署」で何回か見かけた「テディ・キャレラ」というキャレラ刑事の妻で二卵性双生児マークとエイプリルという兄妹の優しい母親役を演じた女優の印象が一番強烈でした。60年以上も前のアメリカテレビドラマを何とか再放送をしてほしいと渴望してい

ますが未だに叶わず、今後もあまり見込みはなさそうです。アメリカ本国ではDVD化され、販売されているようですが、日本語字幕付きか吹き替え版でもない限り私にはチンプンカンプンで手に負えません。ジーナ・ローランズの訃報を聞き、思わず昔のことを思い出しました。好きだった小説やテレビドラマを色どってくれた古き良き時代の女優のご冥福を祈りつつ、擱筆とさせていただきます。



左・若いころのジーナ 中・87分署のテディ役 右・映画「グロリア」子役と



87分署の主役の4人の刑事

夫の俳優兼監督ジョン・カサベテスと